

2024年3月14日

各位

会社名 ヤーマン株式会社
(コード番号: 6630 東証プライム市場)
代表者名 代表取締役社長 山崎 貴三代
問合せ先責任者 取締役管理本部長 宮崎 昌也
TEL 03-5665-7330
URL <https://www.ya-man.co.jp/>

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2024年3月14日開催の取締役会において、以下のとおり、最近の業績の動向等をふまえ、2023年6月13日の2023年4月期決算発表時に開示した2024年4月期(2023年5月1日~2024年4月30日)通期連結業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2024年4月期通期業績予想数値の修正(2023年5月1日~2024年4月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	45,000	6,500	6,200	4,350	79.06
今回修正予想(B)	32,430	1,660	1,830	950	17.27
増減額(B-A)	△12,570	△4,840	△4,370	△3,400	
増減率(%)	△27.9	△74.5	△70.5	△78.2	
(ご参考)前期実績 (2023年4月期)	42,996	6,134	5,917	3,913	71.12

2. 修正の理由

2023年5月1日から2024年1月31日までの第3四半期連結累計期間は、足元の物価高に加え、国内外の政情不安や自然災害などによって消費者マインドの低下がみられました。

海外では、これまで好調に推移してきた中国国内での販売が、ALPS処理水の問題に端を発した日本製品の買い控えや、2024年4月から始まるRF規制に向けた他メーカーのRF搭載美容機器の安売りによる市場の混乱などの影響を受け、想定以上に落ち込みました。

国内では、シェーバー・ヘアケアといった新カテゴリや直販部門のリピート施策について、未だ投資が先行し、売上の伸長に寄与することができませんでした。

また、原材料費や人件費の高騰に対して、サプライチェーンの見直しやオペレーションの効率化などの施策によるコスト削減に努めてきたものの、利益面においても計画を下回る結果となりました。

このような状況をふまえ、今回、通期の業績予想の修正を行うことといたしました。

3. 今後の取り組みについて

当社は、2015年の中国市場への進出以来、中国における美容機器のリーディング・カンパニーとして、健全な市場形成とブランディングに継続して取り組んでおり、今回の市場の混乱においても、ブランドを棄損するような販売は行っていません。

中国市場の減速は当面続くものと考えられますが、中国国内でのヤーマンブランドの認知度は高く、状況が変わるまでの一時的な落ち込みであると認識しております。

新たに設立した雅萌（浙江）電子商務有限公司において中国国内での BtoC 事業に本格参入するなど、販路や製品展開の見直しを通じて売上の回復を目指してまいります。

また、中国を始めとする海外市場は中期経営計画の達成のために欠かせない重要な販路であることから、引き続き一定水準の投資を継続していくとともに、各国のお客様のニーズに沿った製品開発や各種認証の取得、「表情筋研究所」を中核とした効果効能の実証など、更なる付加価値の創造を通じて売上の伸長を図ってまいります。

国内では、新カテゴリであるシェーバー・ヘアケアに対する投資が先行しておりますが、これらのカテゴリは市場規模が大きいだけに、認知度を上げて売上に結びつくまでの時間がかかるものと想定しており、広告施策や製品展開の見直しを行いながら、シェアの拡大を目指してまいります。

直販部門におきましては、2月には自社 EC システムの入替が完了しており、お客様の利便性と満足度を向上させ、リピート商材の売上の積み増しに繋げてまいります。

さらに、サプライチェーンの見直し、広告宣伝の効率化、リピート商材の充実などにも注力し、コスト削減と売上の底上げを目指してまいります。

なお、今期が初年度となる新・中期経営計画については、今後見直しを行ってまいります。

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において当社が入手している情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予測値と異なる可能性があります。

以上